

プロジェクト名：山口県の自然と文化・歴史に関する情報コンテンツの充実

代表者 赤木麻衣子（理工 M1）

構成員 山崎麻里（理工 D2） 水田量太（理4） 豊田加那子（理4） 中村拓人（理4） 永田尚祥（理4）

（1）プロジェクトの目的

学生と地域が密接に関わる場が少ないことから、山口県内の情報を GIS（地理情報システム）にて地域情報をデータベース化することにより地域生活レベルの向上、経済・文化・教育等での活用促進を目的とします。

（2）プロジェクトの内容

本プロジェクトは1999年度に発案され、以後継続してプロジェクトを行っております。これまでに、ゲンジボタルの大量生息地情報やコウモリ類、野鳥、魚類、里山の哺乳類分布情報、棚田の様子、水辺マップなどをテーマにデータベース化を行ってきました。

今回はさらに充実した情報コンテンツとするために、県内の情報を自然分野（コウモリの分布・生態、被害状況）、歴史・文化分野（まつり&花火大会、道の駅）とし情報収集を行っております。

（3）現在までの活動状況

『自然分野 コウモリの分布・生態、被害状況など』

①青少年のための科学の祭典 防府大会 おもしろサイエンス in ソラール2007 に参加（7月28日～29日）

最も身近な野生動物であるコウモリは害獣として嫌われています。しかし、多くの方にコウモリは益獣であることを知ってもらいイメージアップを図るために実際のコウモリを見て、触れてもらいました。

今回は洞窟に生息しているユビナガコウモリを2頭連れていきましたが、多くの子どもたちから『かわいいから飼ってみたい！』という声が飛び出すほど大人気のコウモリ。コウモリの出す超音波をバットディテクターというコウモリの超音波を私たちの耳に聞こえる音に変換してくれる機械で聞いてもらうと子どもも大人も真剣に聞きっていました。子どもたちにこのコウモリは毎日何を食べているのかなと質問したところ、『石ころ！！』と珍回答が出るなど、とても楽しい時間でした。

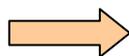
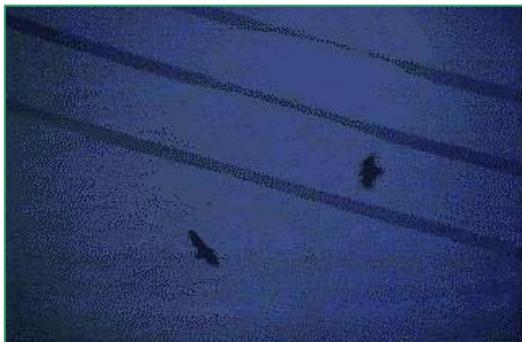


ユビナガコウモリ（洞窟をめぐらし昆虫食、山口県内にも生息しているコウモリ）

②コウモリの分布調査及び被害状況の把握

実際にバットディテクター(コウモリの出す超音波を私たちの耳に聞こえる音に変換してくれる機械)を持ち、校内を歩いてみると、上空にはたくさんのアブラコウモリが飛翔しています。大きさは5~6cmほどで家屋をすみかとしているためイエコウモリとも呼ばれています。人家周辺を飛ぶ蚊などの害虫を捕食するため、益獣です。一方、人家に糞や尿をし、その落下汚染とそれに伴う臭いやダニの発生、または夜間の騒音によっても、人間生活に被害とみなされる影響を与えることがあり、近年、このような苦情は増加傾向にあると言われています。

現在、コウモリの分布調査については月1~2回、秋吉台での洞窟調査を行っています。被害状況の把握については情報不足のため今後、収集に努めます。



夕暮れになると、学内上空でもこのように飛んでいます

その正体は、このアブラコウモリ

『 歴史・文化分野 まつり&花火大会、道の駅 』

① まつり&花火大会 (一部掲載)

山口県はお祭りや花火大会が多い県でもあり、山口の歴史を感じる場でもあります。今回は8月に行われたお祭り、花火大会をできる限り回り情報収集を行いました。詳細なデータは最終のホームページでアップしたいと思います。



七夕ちょうちん祭り 山口市道場門前中心商店街パークロード 2007年8月6日~7日

青森のねぶた、秋田の竿灯と並んで、日本三大火祭りの一つに数えられています。見どころは、その数10万個といわれる紅提灯のトンネルと高さ15mに達するサマークリスマスちょうちんツリー。アーケード内には夜店は数少ないが、無数のちょうちんが通りを埋め尽くしてとてもきれいでした。



萩・万灯会 (Mantoue; 大照院・東光寺) 迎え火は毎年8月13日、送り火は毎年8月15日

萩藩主毛利家の菩提寺である大照院と東光寺で開催され、萩の夏の風物詩となっています。毛利氏の菩提を弔うため、石燈籠(大照院、約600基、東光寺、約500基)に入れられたろうそくの火が幻想的な世界を作り出します。

門から大雄宝殿までまっすぐ道が伸びており、大雄宝殿の前には高僧が座る石の座布団があります。門をくぐると多くの柔らかい明りで飾られる石燈籠が見え、過ぎゆく夏の情緒を味わうかのようにゆったりとした時間を過ごすことができます。



関門海峡花火大会 山口県内では最大の花火大会(約 13,000 発) 2007年8月13日



萩・日本海大花火大会(約7000発) 2007年8月1日



光花火大会(約 2700 発) 2007年8月11日



秋吉台花火大会(約2000発) 2007年7月21日

② 道の駅

山口県内には18ヶ所の道の駅があり、道の駅は道路利用者のための「休息機能」、地域の文化、名所、特産物などを活用して多様なサービスを提供する「情報発信機能」、地域間で手を結びあう「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ休憩施設です。



萩一まーと 新鮮な魚介類が安く買うことができます。



螢街道西ノ市

新鮮な野菜や地元の特産品、良質な温泉、旬な食材を提供するレストランや本格的なパンも楽しめます

プロジェクト進行状況 60%

・実施済み事項

- 1) コウモリの分布調査(継続して調査は行っています)
- 2) 祭り&花火大会の情報収集
- 3) 道の駅の情報収集(一部実施済み)

・これからの予定

- 1) コウモリの被害状況の把握をするため、聞き込み調査を予定しています
- 2) 道の駅の特色・設備の情報収集、また働いている人・訪れた人への聞き込み

予算使用状況

260,000 円

(予算学 500,000 円)